

視覚フォーラム運営委員会議事録

第12回視覚フォーラム大会1日目昼食時間

日時：平成20年8月28日（木）午後0：00～1：15

場所：第12回視覚フォーラム会場大阪大学豊中キャンパス

出席者：今井啓雄、阪口豊、佐藤宏道、田村弘、谷藤学、中谷敬、畠義郎、深田吉孝、三好智満、小松英彦

欠席者：蟻川謙太郎、大黒浩

1. 平成21年の大会は昨年決めた予定通り、鹿児島大学の内山博之先生を世話人として鹿児島で行うことにした。本会に先立って会長から内山先生にこの件については了解を得ていることが報告された。

2. 次期会長の選出について意見交換を行った。

3. 次期の運営委員の改選方法は、前回と同様の方法（会員からのメール投票にもとづき運営委員会で決定）で行うという案が会長から提案され、これを了承した。

3. 視覚フォーラムのこれからのあり方について意見交換を行った。その時に出た主な意見は以下の通り（順不同、意見の概要のみ抜粋して示す）。

- ・ フォーラムという学会と違うあり方は自由度が高くフレキシビリティがあり、今後もこのような形が望ましい。
- ・ 大会ごとに大会長が何らかの方向に指向性を出してきており、会ごとにその方向性が違うので自然な形で色々な方向がカバーされてきている。そのようなあり方が今後も望ましい。
- ・ 新しい人の参加を促す方策としては、視覚フォーラムの案内を運営委員が関係する他学会等のメーリングリストに流す。
- ・ 視覚フォーラムの知名度をあげる方法としては、他の学会などの機会に視覚フォーラムとしてシンポジウムを提案して行う、関連する分野の国際集会や色んな研究会に視覚フォーラムから人を出して参加し共催という形にする、などして存在をアピールすることも考えられる。

4. APCV（アジア太平洋視覚会議）について会長から報告があった。今年は7月にオーストラリアのブリスベンで行われ、ヨーロッパからも参加があった。次回は2010年に台湾、その次からは毎年開催になり、2011年は香港で開催予定。